

平成30年度 社会福祉法人たいよう福祉会 事業報告

はじめに

事業運営にあたっては、基本理念をもとに、障害者総合支援法等関係する法律を遵守し、障害をもつ方々の「就労支援を中心として日中活動」「地域での暮らし」「社会参加」を主な柱とし、職員間や関係機関等との連携を図り、利用者一人ひとりのニーズを的確に把握して利用者の支援の充実に努めた。

法人本部

社会福祉充実計画に基づき、新規障害福祉サービス事業所開設検討委員会を設置し、施設整備の基本構想を取りまとめ、建設候補地を選定し売買契約を締結することができた。今後は、施設整備準備室に引き継ぎ、施設の事業計画の策定と基本設計に向けた準備を進めていきたい。

中長期事業計画を念頭に置きながら、利用者支援の充実や人材の確保・定着・育成、地域における公益的取り組みの推進を掲げてきたが、引き続き、施設整備の検討と並行し各事業の課題等の洗い出しを行い対応することとしたい。

(詳細は法人本部事業 事業報告による。)

障害福祉サービス事業（就労移行支援・就労継続支援B型・日中一時支援）

たいようSOCIOセンター

たいようSOCIOセンターについては、平成30年度事業計画に基づき、良質な福祉サービスと健全な事業所運営に努めた。利用契約者の状況として、就労移行支援事業は定員6名に対して8名、就労継続支援B型事業は定員34名に対して42名、日中一時支援事業は定員10名に対して24名と利用契約を結ぶ。各事業の利用状況は、就労移行支援事業が1日平均3.7名（定員に対して約61%の稼働率）、就労継続支援B型事業が1日平均35.8名（定員に対して約111%の稼働率）、日中一時支援事業は1日平均5.6名（定員に対して56%の稼働率）、事業所全体では1日平均45.2名（多機能50名の定員に対して90.4%の稼働率）の利用があった。平成29年度に比べて利用減となった要因としては、利用者死去や長期入院等で通所できない状況の利用者が複数名いたことがあげられる。

就労移行支援事業においては、これまでと同様、柏崎刈羽地域障害者自立支援協議会進路・就労ワーキングの取り組みやハローワーク柏崎、障害者就業・生活支援センターこしじ等の関係機関と連携し、障害者就職面接やジョブガイダンスへの参加、企業見学等を通じて、就労への関心を高め、施設外支援や職場実習により3名が就労経験を積み、内2名の就職を実現することができた。就労移行支援事業終了者の増加に伴い、就職者への定着支援の必要性が高まり、これまで当事業所から就職した20名に対して、順次職場訪問を実施する他、個々のケースに応じた同行支援や面談、ケア会議に出席し定着

支援の強化を図った。就労定着支援の一環として取り組んできたOB会については、障害者就業・生活支援センターと共催のつどいという形で開催すると共に、独自の懇親会も年1回実施した。また特別支援学校高等部の卒業予定者へのアセスメント実習として4名を受け入れ、評価を行った。体験受け入れも積極的に行い、高等学校卒業生の進路を決める際のアセスメントとして助言することや、これまで障害福祉サービスを利用したことがない方のアセスメント材料が必要な際に就労支援の場を提供し、関係機関に協力することができた。

就労継続支援B型事業については、法に定める定員緩和の措置（125%枠）を最大限に活用し利用の促進に努めた。また、日中一時支援事業においては、比較的支援区分が高く他の受け入れ先が困難とされる方についても引き続きの利用ができるよう支援の工夫などに努め、平成31年度に利用拡大を目指せるよう支援内容の見直しを図り、新年度への準備を重ねた。合わせて、夏期長期休暇中の児童への利用も再開し、利用拡大に努めた。就労支援事業については、受注量の拡大のために、単価の見合わない作業や施設外就労の見直し・整理に取り掛かった。新たに、自主製品事業としてレーザー一刻印機を譲り受け、本格的に導入するための試験的取組をはじめた。工賃実績としては、効果が始まっており結果として工賃アップにつながった。

利用者の健康管理については、協力医療機関である柏崎総合医療センターの健診や柏崎市歯科医師会の協力による歯科検診の実施、元気館元気支援課の歯科衛生士との連携を強化し、歯科通院への調整や歯科相談などにつなぎ利用者の健康管理に努めた。

給食については、利用者の嗜好調査とともに給食提供継続の可否・料金設定等のアンケートや取り巻く法制度の情報提供を実施し、今後の給食についての有り方を検討した。

余暇活動については、年間3つの主要行事（お花見、一泊旅行、忘年会）の企画や地域の外部講師によるクラブ活動を実施することにより、利用者には作業とは違った楽しみを提供することで、日々の作業への活力へと代える事ができた。

（詳細は指定障害福祉サービス事業 たいようSOCIOセンター事業報告による。）

障害福祉サービス事業（就労定着支援）

たいようSOCIOセンター

平成30年10月1日より、たいよう福祉会の新サービスとしてスタートした就労支援事業では、当法人の就労支援事業を利用した方6名、法人外の就労支援事業を利用した方1名で合計7名の方の利用登録があった。

これまでもたいよう福祉会では、独自でフォローアップ支援をしており、就労支援員が就労定着支援員を兼務することで、大きな変更なく、業務をスムーズに新事業へ引き継ぐことができた。

（詳細は指定障害福祉サービス事業 たいようSOCIOセンター事業報告による。）

障害福祉サービス事業（共同生活援助 介護サービス包括型）

たいようホーム・あっとホーム

平成30年度事業計画に基づき健全な事業所運営に努めた。

保護者の高齢化により身元引受人が親から兄弟姉妹又は親族に引き継がれるケースが増えていることから、成年後見制度の理解と利用について検討していきたい。利用者の健康管理や日常生活の支援にあたっては、利用者本人の意向を丁寧に聞き取り、視覚支援や具体的提示により、一定の成果を得ている。

今後も、相談支援事業所や居宅サービス事業所、医療機関等の関係機関、就労先企業と連携し、利用者個々の意向や個別支援計画に沿った支援に取り組んでいきたい。

バックアップ施設と世話人との連絡会議を毎月開催し、バックアップ施設職員の定期的な訪問を通して連携に努めた。防災対策については、災害時の対応に備え、避難訓練を実施し、防災意識の啓発に努めた。

(詳細は指定共同生活援助事業 たいようホーム事業報告による。)

相談支援事業 障がい児(者)生活支援センターふくし・ぱーとなー

平成30年度事業計画の通り、柏崎市、刈羽村から委託を受けての障害者相談支援事業(基本相談)、一般相談支援事業、特定相談支援事業、障害児相談支援事業の4事業を継続実施してきた。(相談件数、支援内容については別紙事業報告書のとおり)

基本相談では、来所または訪問により相談を受け、困りごとの聞き取りや家庭状況や障害特性等を把握するためのアセスメントを行い、つながりを作り、いつでも相談しやすい環境を提供。サービス利用が必要になった際、利用等の調整を行った。

一般相談支援事業では、地域移行支援の実績はなかったが、地域定着支援で15名の利用者に対応し、24時間の連絡体制と定期的訪問(月2回程度)により、安心して地域で暮らせるよう支援を行った。

特定相談支援事業、障害児相談支援事業では、サービス利用のための計画を作成、利用の調整を行い、サービスが適正に提供されているか定期的にモニタリングを行ってきた。モニタリングの際は関係機関、関係者が集まったの会議形式を多く取り入れ、支援者間のつながりを強めるよう配慮した。

柏崎刈羽地域障害者自立支援協議会においては、委託相談支援事業所として、事務局とともに協議会運営の中心的な役割を担っている。

(詳細は指定相談支援事業 障がい児(者)生活支援センターふくし・ぱーとなー 事業報告による。)

公益事業 柏崎市資源物リサイクルセンター管理に関する業務

柏崎市の委託事業を通じて、障害者の雇用と就労支援の場を提供することができた。

委託の趣旨を十分に理解し、来場される市民に対して懇切丁寧な対応に努めてきた。担当課である柏崎市市民生活部環境課とは定期的に連絡会議を開催し、連携して業務に取り組んできた。障害者雇用については、就労定着支援事業所と連携し職場定着の支援に努めていきたい。

(詳細は柏崎市資源物リサイクルセンター管理に関する業務 事業報告による。)

法人本部事業 事業報告

1. 法人が行う事業

(1) 第2種社会福祉事業

ア 障害福祉サービス事業

事業種別	事業所名	住 所	備 考
就労移行支援事業 就労継続支援 B 型事業	たいよう SOCIO センター	柏崎市豊町 3-5	定員 40 名
就労定着支援事業	たいよう SOCIO センター	柏崎市豊町 3-5	
共同生活援助事業	たいようホーム	柏崎市四谷 2-4-3	定員 6 名
	あつとホーム	柏崎市小倉町 10-14	定員 5 名

イ 一般相談支援事業の経営

事業所名	住 所
障がい児(者)生活支援センターふくし・ぱーとなー	柏崎市豊町 3 番 4 号 シャンポール 8 104 号

ウ 特定相談支援事業の経営

事業所名	住 所
障がい児(者)生活支援センターふくし・ぱーとなー	柏崎市豊町 3 番 4 号 シャンポール 8 104 号

エ 障害児相談支援事業の経営

事業所名	住 所
障がい児(者)生活支援センターふくし・ぱーとなー	柏崎市豊町 3 番 4 号 シャンポール 8 104 号

(2) 公益事業

柏崎市資源物リサイクルセンター管理に関する業務

2. 沿 革

平成30年 6月15日 法人資産変更登記(平成29年度分)

3. 本部事業関係

(1) 監事会

開催日	会議名及び出席者	議案等
5月22日	第1回監事会 監事2名	平成29年度事業報告、社会福祉事業及び公益事業決算についての監査

(2) 理事会

開催日	会議名及び出席者	議案等
平成30年 5月29日	第1回通常理事会 理事6名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度 事業報告について ・平成29年度 決算について ・監査報告 ・平成30年度 資金収支補正予算書(案)について ・社会福祉法人たいよう福祉会 理事・監事及び評議員の報酬等の支給基準に関する細則の一部改正について ・たいよう SOCIO センター(就労移行支援・就労継続支援 B 型) 運営規程の一部改正について ・平成30年度定時評議員会の開催について

		<ul style="list-style-type: none"> ・報告事項 業務の執行状況について 平成29年度決算に基づく社会福祉充実残額の算定について ・その他
9月3日	第1回臨時理事会 理事8名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人たいよう福祉会経理規程の一部改正について ・たいようSOCIOセンター（就労定着支援）事業計画（案）について ・平成30年度資金収支補正予算書（案）について ・たいようSOCIOセンター（就労定着支援）運営規程の制定について ・平成30年度第1回臨時評議員会の開催について ・報告事項 業務の執行状況について 新規障害福祉サービス事業所開設検討委員会中間報告
平成31年 1月16日	第2回臨時理事会 理事8名 監事1名	<ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉サービス事業所建設用地の選定について ・障害福祉サービス事業所整備に関する基本構想（案）について ・社会福祉法人たいよう福祉会 職員就業規則の一部改正について ・社会福祉法人たいよう福祉会 臨時職員等の取扱規程の一部改正について ・社会福祉法人たいよう福祉会 職員給与規則の一部改正について ・平成30年度第2回臨時評議員会の開催について ・報告事項 業務の執行状況について 職員採用の結果について
3月12日	第2回通常理事会 理事8名 監事1名	<ul style="list-style-type: none"> ・施設整備に供する土地の売買契約の締結について ・平成30年度 資金収支補正予算書（案）について ・たいようSOCIOセンター（就労移行支援・就労継続支援B型）運営規程の一部改正について ・共同生活援助事業運営規程の一部改正について ・一般相談支援事業運営規程の一部改正について ・平成31年度 事業計画（案）について ・積立金の取崩について ・平成31年度 資金収支予算書（案）について ・平成30年度 第3回臨時評議員会の開催について ・職員の雇用継続について ・センター長の任命について ・第三者委員の選任について ・報告事項 業務の執行状況について

(3) 評議員会

開催日	会議名及び出席者	議案等
平成30年 6月14日	定時評議員会 評議員9名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度 事業報告について ・平成29年度 決算について ・監査報告 ・平成30年度 資金収支補正予算書（案）について ・社会福祉法人たいよう福祉会 理事・監事及び評議員の報酬等の

		支給基準に関する細則の一部改正について ・報告事項 平成29年度決算に基づく社会福祉充実残額の算定について ・その他
9月21日	第1回臨時評議員会 評議員8名 監事2名	・たいようSOCIOセンター（就労定着支援）事業計画（案）について ・平成30年度資金収支補正予算書（案）について ・報告事項 社会福祉法人たいよう福社会経理規程の一部改正について たいようSOCIOセンター（就労定着支援）運営規程の制定について 新規障害福祉サービス事業所開設検討委員会中間報告 職員募集について
平成31年 1月29日	第2回臨時評議員会 評議員7名 監事2名	・障害福祉サービス事業所建設用地の選定について ・障害福祉サービス事業所整備に関する基本構想（案）について ・報告事項 職員採用の結果について
3月19日	第3回臨時評議員会 評議員8名 監事1名	・施設整備に供する土地の売買契約の締結について ・平成30年度 資金収支補正予算書（案）について ・平成31年度 事業計画（案）について ・積立金の取崩について ・平成31年度 資金収支予算書（案）について

(4) 役員懇談会

平成30年度開催無し

(5) 評議員選任・解任委員会

平成30年度開催無し

4. 職 員（平成31年3月31日現在）

(1) 障害福祉サービス事業所たいようSOCIOセンター（就労移行・就労継続B型の多機能）

職 名	正規職員	非常勤	備 考
センター長	1		
サービス管理責任者	1		主任1名
事務員	2		総括主任1名、主任1名
生活支援員	4		
職業指導員	2	4	
就労支援員兼職業指導員	1		
目標工賃達成指導員	1		
栄養士兼職業指導員	1		
調理員		5	(内支援員2名兼務)
嘱託医		1	
合 計	14	8	

(2) 障害福祉サービス事業所たいようSOCIOセンター（就労定着支援）

職 名	正規職員	非常勤	備 考
センター長	1		
サービス管理責任者	1		多機能と兼務、主任1名

事務員	1		多機能と兼務、主任1名
就労定着支援員	1		多機能の就労支援員と兼務
合計	4	0	

(3) 障がい児(者)生活支援センターふくし・ぱーとなー

職名	正規職員	非常勤	備考
管理者兼相談支援専門員	1		
相談支援専門員兼地域移行・地域定着支援員	2		主任1名
事務員	1		たいよう SOCIO センター総括主任兼務
合計	4	0	

(4) 共同生活援助事業 (たいようホーム・あつとホーム)

職名	正規職員	非常勤	備考
管理者	1		たいよう SOCIO センター センター長兼務
サービス管理責任者	1		たいよう SOCIO センター生活支援員兼務
生活支援員	1		たいよう SOCIO センター生活支援員兼務
事務員	1		たいよう SOCIO センター総括主任兼務
世話人		7	たいよう SOCIO センター職業指導員兼務
合計	4	7	

(5) 柏崎市リサイクルセンター管理業務委託事業

職名	正規職員	非常勤	備考
管理者	1		たいよう SOCIO センター センター長兼務
事務員	1	1	たいよう SOCIO センター総括主任兼務
登録者		2	障害者雇用
支援スタッフ		10	内2名はたいよう SOCIO センター非常勤職員兼務
合計	2	13	

(6) 法人全体の職員数 (実人員)

正規職員 17名
 臨時職員等 25名

5. 職員研修

(1) 内部研修

ア課題別研修

月日	研修内容	参加職員
平成30年6月18日	メンタルヘルスケアについて	全職員対象
7月20日	誤嚥時の異物除去対処法・AED使用法、心肺蘇生術について	全職員対象
平成31年3月5日	就労定着支援について	全職員対象

イ復命研修

月日	研修内容	参加職員
平成30年12月10日	障害者虐待防止・権利擁護について	全職員対象

(2) 外部研修

月 日	研修内容	参加職員
平成30年6月22日	高齢期の利用者の暮らしと支援を考える	サービス管理責任者
7月18日～20日 10月4日～5日	相談支援事業従事者初任者研修	支援員1名
7月31日	高齢者・障害者虐待防止対策研修	支援員1名
8月29日	重度・高齢化を考える	サービス管理責任者
8月31日	コミュニケーションスキルアップ研修	支援員1名
9月7日	社会福祉法人のぞみの家福祉会視察研修	法人事務局
9月13日～14日 11月13日～14日	新潟県相談支援事業従事者現任研修会	相談支援専門員
11月19日～20日	障害者虐待防止・権利擁護研修会	サービス管理責任者
11月22日	指定障害福祉サービス事業者等集団指導	センター長・管理者 サービス管理責任者
11月22日	みんなで暮らせる地域づくりフォーラム	相談支援専門員
12月4日～6日	就業支援基礎研修	支援員1名
平成31年3月1日	社会福祉士実習指導者フォローアップ研修	サービス管理責任者

6. 新規障害福祉サービス事業所開設検討委員会

(1) 開催状況

開催日	委員会の開催及び活動内容
5月 9日	第1回検討委員会（事務局会議）
6月 5日	第2回検討委員会（事務局会議）
6日	柏崎市福祉保健部福祉課と今後のスケジュール等について説明
18日	第3回検討委員会（全体会）
28日	第4回検討委員会（事務局会議）
7月13日	柏崎市福祉保健部福祉課との情報交換・勉強会
20日	第5回検討委員会（事務局会議）
23日	第6回検討委員会（全体会）
8月 3日	第7回検討委員会（事務局会議）
6日	建設候補地についての情報提供と検討
30日	建設候補地についての情報提供と検討
9月 3日	第1回臨時理事会にて経過報告
7日	視察研修（新発田市 社会福祉法人のぞみの家福祉会）
11日	建設候補地についての情報提供と検討
21日	第1回臨時評議員会にて経過報告
27日	第8回検討委員会（事務局会議）
10月 3日	第9回検討委員会（支援員会議）
	視察研修（上越市 社会福祉法人さくら園 つばき工房）
9日	第10回検討委員会（事務局会議）
11月 5日	建設候補地の視察
21日	第11回検討委員会（事務局会議）
30日	第12回検討委員会（事務局会議）

12月 3日 ～10日 4日	平面図案についての検討（意見聴取） 第13回検討委員会（事務局会議）
----------------------	---------------------------------------

(2) 給食検討委員会

開催日	委員会の開催及び活動内容
8月13日	第1回検討委員会
30日	NPO法人ワークステーション喫茶めぐ視察研修
10月 5日	第2回検討委員会

7. 地域における公益的取り組み

- (1) 事業名 にいがたセーフティネット事業（生活困窮者に対する生活・就労支援事業）
- (2) 事業実施主体 新潟県社会福祉法人経営者協議会
- (3) 事業内容 就職活動応援金付職場体験事業
①職場体験の場の提供
②職場体験の回数に応じた就職活動応援金の提供
- (4) 事業実績 拠出金の納入 年間 20,000 円
職場体験の場の提供 0 件（提供場所 たいよう SOCIO センター）

8. 職員採用に係る経過報告

(1) 募集職員

たいよう SOCIO センター事務職員 1名

(2) 採用予定日

令和2年4月1日

(3) 経過と結果

日程	活動内容
6月 1日	募集開始 ハローワーク・関係学校への求人票の送付、新潟県社会福祉協議会福祉のお仕事への登録、リクナビダイレクト求人サイトへの掲載、
9月28日	大学及び専門学校等への求人活動（理事長、理事、センター長、総括主任） 訪問先：新潟医療福祉大学、新潟青陵大学、NSGグループ
10月26日	県内大学、専門学校と市内企業との情報交換会への参加（市民プラザ）
11月 5日	採用試験の実施（4名応募） 小論文試験・適性検査・面接の結果、全員不採用とした。

9. 外部委託による巡回監査及び労務管理・指導の実施

(1) 委託先

税理士法人さくら総合会計 新潟市西区小新南2丁目9番20号

(2) 委託内容

巡回監査による指導業務及び経営相談等

(3) 巡回回数 定期訪問 年6回 その他、労務管理等に関する指導は委託費の範囲以内で随時

障害福祉サービス事業
(就労移行支援・就労継続支援B型・日中一時支援)
たいようSOCIOセンター 事業報告

1. 事業の目的

(1) 就労移行支援事業 (定員6名)

利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、利用者に対して、生産活動その他の活動の機会を通じて、就労に必要な知識及び能力の向上を図るとともに、職場実習、職場開拓等を通じて本人にあった職場への就労・定着を図るなどの支援を行う。

(2) 就労継続支援B型事業 (定員34名)

利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、利用者に対して、就労及び生産活動その他の機会を通じて、知識及び能力の向上のために必要な訓練・支援を行う。

(3) 日中一時支援事業 (定員10名 柏崎市・刈羽村地域生活支援事業)

障害者等を一時的に預かることにより、日中活動の場を提供し、見守り及び社会に適応するための日常的な訓練等を行うとともに、家族の就労支援及び日常的に介護している家族の一時的な休息を目的として実施する。

2. 利用状況 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(1) 利用契約者数 (単位:人)

	就労移行	就労継続B	日中一時	合計
男	8	25	19	52
女	0	17	5	22
合計	8	42	24	74

※就労移行の8名のうち4名はアセスメント実習

※日中一時の24名のうち5名は夏期長期休暇中の児童利用

(2) 年齢別統計 (単位:人)

	～19才	20～29才	30～39才	40～49才	50～59才	合計
就労移行支援	7	0	1	0	0	8
就労継続支援B型	1	5	17	15	4	42
日中一時支援	7	5	7	3	2	24
合計	15	10	25	18	6	74

(3) 開所日数及び利用状況

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月
開所日数(日)		22	23	22	23	21	20
利用 延 人数	就労移行(人)	72	91	86	90	93	88
	就労継続B(人)	784	802	787	839	745	704
	日中一時(人)	147	132	154	138	138	101
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月
開所日数(日)		23	22	21	21	20	23
利用 延 人数	就労移行(人)	92	82	79	67	67	72
	就労継続B(人)	853	827	759	748	734	784
	日中一時(人)	110	104	109	109	105	117

(4) 前年度対比 (稼働率等)

項目	29年度 (269日開所)			30年度 (261日開所)		
	延利用者数 (人)	1日当たりの 利用者数 (人)	稼働率 (%)	延利用者数 (人)	1日当たりの 利用者数 (人)	稼働率 (%)
就労移行	942	3.5	43.8	979	3.7	61.7
就労継続	9,502	35.3	110.3	9,366	35.8	111.9
日中一時	1,841	6.8	68.0	1,464	5.6	56.0
集 計	12,285	45.6	91.2	11,809	45.2	90.4

(5) 就労移行支援の状況

年 度	就 労 者		就 職 先 企 業 名
	就労移行	継続B	
平成29年度	2		(株)テック長沢 (有)スマイル グループホームのた・うかわの畔
平成30年度	2		(株)ケンブリッジ 小規模多機能ホームこもれば (株)ケンブリッジ グループホームひなた
合計	4		

3. 給食

項 目 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
給 食 日 数	19	21	21	21	19	16
延給食提供数	1,137	1,214	1,217	1,215	1,103	940
項 目 \ 月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
給 食 日 数	22	21	18	19	19	20
延給食提供数	1,293	1,225	1,123	1,107	1,137	1,171

年間給食日数	236日	年間給食数	13,882食
--------	------	-------	---------

4. 施設事業関係

(1) 年間の主な事業・活動

平成30年

月	日	内 容
4	2	辞令等交付式、入所式 (就労継続支援B型2名)
	5	作業体験受入2名
	13	<行事>お花見バスハイキング (上越市高田公園観桜会)
	23	春季健康診断 (胸部レントゲン、血液検査、尿便検査、身体測定)
	25	工賃支給
	26	春季健康診断 (心電図)
	28	保護者会定期総会
5	8	東北福祉大学体験学習受入
	11	さくら総合会計事務所訪問監査
	23	特別養護老人ホーム柏柳の里交流事業
	25	工賃支給
	31	春季健康診断 (嘱託医による問診)
6	11	新潟青陵大学現場実習受入1名 (~6/26まで)

		はまなす特別支援学校実習受入4名 (～6/22まで)
	18	東北福祉大学社会福祉援助技術実習受入 (～7/20まで)
	25	工賃支給
	29	歯科検診
7	6	新潟日報取材 (STKサイエンスを楽しむ会のレーザー作業)
	9	総合防災訓練
	11	さくら総合会計事務所訪問監査
	25	特別養護老人ホーム柏柳の里交流事業 工賃支給
8	3	柏崎刈羽福祉事業協会視察研修受入
	10	利用者夏季賞与支給 はまなす特別支援学校職員研修受入
	14～16	夏季休業
	20	新潟青陵短期大学保育実習受入1名 (～8/30)
	22	特別養護老人ホーム柏柳の里交流事業
	24	工賃支給
9	3	新潟青陵短期大学保育実習受入1名
	12	さくら総合会計事務所訪問監査
	13～14	<行事>利用者一泊旅行 (栃木県鬼怒川温泉方面)
	20	新館外部手摺修繕工事、非常屋外階段補充工事
	25	工賃支給
	26	特別養護老人ホーム柏柳の里交流事業
	28	保護者懇談会
10	9	はまなす特別支援学校作業実習受入7名 (～10/26まで) 新潟青陵大学社会福祉援助技術現場実習受入1名 (～10/25まで)
	15	東北福祉大学社会福祉援助技術現場実習受入1名 (～11/15まで)
	17～18	ダムウェーダー更新工事
	24	特別養護老人ホーム柏柳の里交流事業
	25	工賃支給
	27	保護者会合同研修会
	30	さくら総合会計事務所訪問監査
11	1	職員健康診断 (～平成31.2.22まで)
	6	障害者就職面接会参加
	15	マジックショー招待
	22	工賃支給
	27	総合防災訓練
12	10	年末賞与支給
	12	新潟県知的障害者福祉協会上越地区会員研修会開催 (当番施設)
	14	<行事>利用者忘年会 (メトロポリタン松島)
	25	工賃支給
	27	さくら総合会計事務所訪問監査
	29～31	年末休業

平成31年

1	1～3	年始休業
---	-----	------

	25	工賃支給
2	14	はまなす特別支援学校職業講話講師派遣
	19	障害者就職面接会（長岡市）
	25	工賃支給
	26	さくら総合会計事務所訪問監査
3	23	第3回OB会
	25	工賃支給
	29	年度末一時金支給

(2) 防災訓練

総合防災訓練（消防署通知）年2回、通常の訓練（毎月）

(3) クラブ活動

生花教室（月1回）、茶道教室（月1回）、ダンス教室（月1回）

(4) 調理実習・創作活動（土曜開所日）

(5) 新潟県知的障害者福祉協会関係会議

施設長会議（年2回）、上越地区会員研修会の開催

(6) 柏崎刈羽地域障害者自立支援協議会関係

プロジェクトチーム（65歳以上就労B型利用者・就労定着支援）

サービス管理責任者連絡会

ジョブガイダンス（就労移行支援）

(7) 計画相談に係るケア会議

随時、サービス管理責任者及び担当職員が出席

(8) 各種施設内会議

職員・防災・給食会議（月1回、他随時）、支援員会議（月1回）、施設外作業会議（月1回）、ケース会議（随時）

引継ぎ（毎日）

(9) 中越圏域就労移行支援事業所連絡会議への出席

5. 就労支援事業

(1) 受託作業

官公庁・企業・事業所名	住 所	業 務 内 容
柏崎ユーエステック株式会社	柏崎市藤井 1350	成型部品の組立、梱包等
株式会社コロナ	柏崎市宝町 2-58	暖房機器部品加工
三喜商事株式会社	長岡市塚町 7 2 2	商品梱包、紙器加工等
山崎工業株式会社	柏崎市安田田尻工業団地 7578 番	外観検査及び治具による検査
吉沢工業株式会社	出雲崎町大字小木 318-8	紙器組立加工等
株式会社アイエヌテック	柏崎市大字藤井 1407	成型部品の組立、並べ等
株式会社小竹天瑞堂	柏崎市劔 266	印刷物の加工、製箱等
特別養護老人ホーム柏柳の里	柏崎市高柳町岡野町 2254-1	かしわハンズ販売委託
株式会社With You	柏崎市田塚 1 丁目 3-26	パネ製品梱包、金属製品検品
STKサイエンスを楽しむ会	柏崎市大字藤井 1407	ストラップ梱包・レーザー刻印
こすもす作業所	柏崎市豊町 3-10	大豆選別
株式会社カシックス	柏崎市若葉町 2-22	マラソンパンフレット梱包等
ハンギンゼア	柏崎市若葉町 2-57	レーザー刻印
大同紙器工業㈱	上越市大日 265-1	紙器組立加工等

(2) 施設外就労受託企業

官公庁・企業・事業所名	住 所	受託期間
柏崎市 (人事課)	柏崎市中央町 5-50	通年
株式会社ニッカイ	柏崎市青海川 133-1	//
特別養護老人ホームいこいの里	柏崎市大字佐水 3140	通年
介護付有料老人ホーム桜寿	柏崎市新赤坂 4-10-5	4月～10月
柏崎市 (クリーン推進課)	柏崎市松波 4-13-13	通年(リサイクルセンター)
柏崎地域振興局	柏崎市鏡町 11-9	//
養護老人ホーム御山荘	柏崎市大字上田尻 3960-1	5月～11月
株式会社アイエヌテック	柏崎市大字藤井 1407	通年
(有)清広商事	柏崎市半田 1-15-10	短期 (10月)

(3) 職場実習受託企業

官公庁・企業・事業所名	住 所	受託期間等	備考(実習形態)
(株)原信 原信岩上店	柏崎市岩上 4-19	平成30年11月12日～ 平成30年11月16日	新潟県障害者職 場実習受入促進 事業
(株)スポット パルMart1	柏崎市東原町 17-2	平成30年12月 3日～ 平成30年12月13日	施設外就労
(株)ケンブリッジ グループホーム ひなた	柏崎市大字加納 5884	平成30年 7月 3日～ 平成30年 7月27日	施設外就労
		平成30年10月29日～ 平成30年11月28日	新潟県障害者職 場実習受入促進 事業
		平成30年12月17日～ 平成30年12月21日	施設外就労

(4) 工賃向上計画と工賃支払い実績

ア. 工賃向上計画 (単位: 円)

項 目	目 標		
	28年度	29年度	30年度
工賃支払総額 (円)	6, 480, 000	6, 720, 000	8, 064, 000
平均工賃 (円)	13, 500	14, 000	16, 000

イ. 実績 (単位: 円)

項 目	28年度	29年度	30年度
工賃支払総額	7, 496, 940	7, 483, 340	8, 520, 940
平均工賃	15, 300	15, 558	17, 939
新潟県平均工賃	14, 510	14, 472	未発表

6. 苦情解決・事故防止・情報提供

(1) 事故報告 2件

- ・利用者自傷行為による本人の打撲・出血・切傷および支援員への他害行為
⇒利用者自傷行為があった際のマニュアル再確認と再検討を実施
- ・利用者他害行為による他利用者打撲
⇒他害行為の原因を考察し、予防策を支援員で検討・周知

(2) 苦情受付 0件、ヒヤリハット報告 1件

・利用者施設外への離脱

⇒離脱の原因を追究し、予防策を支援員で検討・周知

苦情の内容は、利用者の支援に係る事項で、第三者委員への報告を要しない案件として当事者に苦情解決結果報告書を提出する。

7. 視察来所者 (敬称略)

平成30年 8月 3日 社会福祉法人柏崎刈羽福祉事業協会

8. ボランティア等

生花教室 講師 1名

ダンス教室 講師 1名

茶道教室 講師 3名

創作活動 講師 1名

作業ボランティア 1名

9. 保護者会関係

平成30年 4月28日 定期総会

9月 5日 第1回役員会

10月27日 保護者会研修会

平成31年 3月26日 第2回役員会

※ 施設への機関紙発行資金援助

※ 施設への備品贈呈 (CDラジカセ・屋外用ベンチ)

※ 災害義援金 2件

障害福祉サービス事業（就労定着支援）
たいよう SOCIO センター 事業報告

1. 事業の目的

利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、利用者に対して、生産活動その他の活動の機会を通じて、就労に必要な知識及び能力の向上を図るとともに、職場実習、職場開拓等を通じて本人にあった職場への就労・定着を図るなどの支援を行う。

2. 利用状況

(1) 月別利用状況（単位：人）

項目\月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男	5	5	5	5	4	4
女	2	2	2	2	2	2
合計	7	7	7	7	6	6

(2) 年齢別（単位：人）

～19才	20～29才	30～39才	40～49才	50～59才	合計
0	1	4	2	0	7

(3) 障害種別（単位：人）

知的障害	精神障害	身体障害	合計
7	0	0	7

(4) 就職先

企業・団体名	勤務地	人数	主な業務内容
株式会社クレアメディコ 多機能ケアセンターさわやか苑柏崎春日	柏崎市春日 1-2-51	1	清掃業務
株式会社ケンブリッジ 小規模多機能ホームこもれび	柏崎市北条 2095-1	1	清掃業務
株式会社テック長沢	柏崎市藤井 1358-4	1	清掃業務
株式会社 PLANT SUPER-CENTER - PLANT - 5 刈羽店	刈羽村大字刈羽 3889	1	青果部門関連業務
社会福祉法人柏崎刈羽ミニコロニー 松波の里	柏崎市松波 4-8-18	1	清掃業務
松風の里	柏崎市松波 4-8-8	1	//
社会福祉法人たいよう福祉会 柏崎市資源物リサイクルセンター（委託業務）	柏崎市松波 4-13-13 クリーンセンター内	1	資源物引取

3. 施設事業関係

(1) 第6期柏崎刈羽地域障害者自立支援協議会関係

進路・就労プロジェクトへの参加 不定期開催 年3回

(2) 計画相談に係るケア会議

随時、サービス管理責任者又は担当職員が出席

(3) 各種施設内会議

就労移行支援、就労定着支援会議（月1回、他随時）

障害福祉サービス事業（共同生活援助 介護サービス包括型）
たいようホーム・あっとホーム 事業報告

1. 事業の目的

利用者の自立を目指し地域において、共同生活を営むことができるよう、利用者の身体及び精神状態並びにその置かれている環境に応じて、食事の提供、相談その他の日常生活の支援を適切に行う。

2. 生活住居

事業所名	住 所	定 員
たいようホーム	柏崎市四谷2-4-3	男性6名
あっとホーム	柏崎市小倉町10-14	男性5名

3. 利用者の状況

(1) 年齢構成（平成31年3月31日現在）

年 齢	30～39	40～49	50～59	60～65	平均年齢（才）
人 数	3	4	3	1	47.0

(2) 障害の状況

障害支援区分	非該当	区分1	区分2	区分3	合計
人 数	0	2	4	5	11

(3) 利用状況（利用延人数）

月 別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	稼働率
営業日	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31		
たいようホーム	176	179	170	176	173	166	176	169	167	164	156	175	2,047	93.4
あっとホーム	131	135	133	137	126	114	130	126	123	122	115	127	1,519	83.2
合計（11名）	307	314	303	313	280	306	295	290	286	271	271	302	3,566	

※稼働率：年間営業日（365日）に対する利用率

4. 主な事業・活動

- 平成30年 6月14日 地域行事（えんま市）への参加
 28日 避難訓練（火災想定）・119番通報訓練
 （たいようホーム・あっとホーム）
 7月20日 職場内研修（救急講話）
 8月 8日 消防設備保守点検（たいようホーム・あっとホーム）
 23日 あっとホームエアコン入替（居室1・台所1台）
 27日 法人内防災マニュアル打合せ
 29日 新潟地域グループホームづくり検討会 新潟市（職員派遣）
 10月10日 あっとホームエアコン清掃
 22日 ALSOK点検（たいようホーム・あっとホーム）
 24日 避難訓練（地震想定）
 11月 8日 インフルエンザ予防接種（利用者・世話人・支援員）
 たいようホームエアコン清掃
 22日 新潟県集団指導 長岡市
 平成31年 2月18日 消防設備保守点検（たいようホーム・あっとホーム）
 3月 6日 たいようホームエアコン入替（居室1台）

8日 グループホーム交流会（ボーリング・食事会）

利用者全員、世話人3名、担当職員5名

23日 たいようSOCIOセンターOB会（利用者1名参加）

その他、余暇活動として、ご利用者の意見・意向をお聞きしながら、誕生会や外食、外出等を企画・実施する。

5. グループホーム連絡会議の開催及びケア会議への出席

連絡会議は、世話人やサービス管理責任者、生活支援員で構成し、月1回定例会を開催する。個別支援計画の進捗状況の把握や世話人との情報共有を行いながら、利用者に適切な支援が行われるように努めてきた。計画相談が入っているご利用者については、定期的なモニタリング会議に参加し、関係機関との連携が図られるように努めた。

6. 地域とのつながり

ホームが設置されている地域の町内会・近隣住民とのつながり・交流を重視し、ホーム運営に努めるとともに、災害等の緊急時に対応するため、ホーム利用者の要援護者登録を行い、緊急連絡体制を整備する。

相談支援事業
障がい児(者)生活支援センターふくし・ぱーとなー 事業報告

1. 事業の目的及び内容

相談支援事業の円滑な運営管理を図ると共に、利用者及び障がい児の保護者（以下「利用者等」という。）の意思及び人格を尊重し、利用者等の立場に立った適切な相談支援の提供を確保することを目的とする。

- (1) 柏崎市・刈羽村 障害者相談支援事業（地域生活支援事業・基本相談）
- (2) 特定相談支援事業
- (3) 障害児相談支援事業
- (4) 一般相談支援事業（地域移行支援・地域定着支援）

2. 障害者相談支援事業を受けた案件数

実人員：障がい者 33名 障がい児 17名

(1) 基本相談支援を利用している障害別の延べ件数

	身体	重症心身	知的	精神	発達	高次脳機能	その他
障害者	0	0	294	2	48	0	0
障害児	0	0	69	0	10	0	0

(2) 基本相談支援の支援方法（受信） 310件

支援方法	件数	支援方法	件数
アウトリーチ	80	電話相談（夜間）	0
来所	43	電子メール	87
同行	18	個別支援会議	0
電話相談（日中）	73	その他	9

(3) 基本相談支援の支援方法（発信） 120件

支援方法	件数	支援方法	件数
アウトリーチ	11	電話相談（夜間）	0
来所	1	電子メール	18
同行	0	個別支援会議	0
電話相談（日中）	89	その他	1

(4) 基本相談支援の支援内容

支援内容	件数	支援内容	件数
福祉サービスの利用	279	家計・経済	1
障害・病状の理解	11	生活技術	2
健康・医療	9	就労	40
不安解消・情緒安定	9	社会参加・余暇活動	3
保育・教育	4	権利擁護	3
家族関係・人間関係	22	その他	47

3. 特定相談支援事業・障害児相談支援事業を受けた案件数

実人員：障がい者 156名 障がい児 44名（児者の重複含む）

(1) 計画相談支援を利用している障害別の延べ件数

	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者	96	10	2793	129	3	0	0
障害児	0	0	518	0	28	0	0

(2) 計画相談支援の支援方法 (受信) 2256 件

支援方法	件数	支援方法	件数
アウトリーチ	620	電話相談 (夜間)	2
来所	320	電子メール	108
同行	14	個別支援会議	512
電話相談 (日中)	494	その他	186

(3) 計画相談支援の支援方法 (発信) 1315 件

支援方法	件数	支援方法	件数
アウトリーチ	65	電話相談 (夜間)	0
来所	8	電子メール	566
同行	1	個別支援会議	0
電話相談 (日中)	665	その他	10

(4) 計画相談支援の支援内容

支援内容	件数	支援内容	件数
福祉サービスの利用	2881	家計・経済	30
障害・病状の理解	115	生活技術	2
健康・医療	151	就労	3
不安解消・情緒安定	107	社会参加・余暇活動	1
保育・教育	3	権利擁護	35
家族関係・人間関係	112	その他	133

4. 一般相談支援事業 (地域移行支援) を受けた実件数 実人員: 障がい者 0名

5. 一般相談支援事業 (地域定着支援) を受けた実件数 実人員: 障がい者 15名

(1) 地域定着支援を利用している障害別の延べ件数

	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
件数	86	0	357	26	0	0	0

(2) 地域定着支援の支援方法 (受信) 445 件

支援方法	件数	支援方法	件数
アウトリーチ	318	電話相談 (夜間)	0
来所	44	電子メール	2
同行	16	個別支援会議	1
電話相談 (日中)	60	その他	4

(3) 地域定着支援の支援方法 (発信) 24 件

支援方法	件数	支援方法	件数
アウトリーチ	5	電話相談 (夜間)	0
来所	0	電子メール	4
同行	0	個別支援会議	0
電話相談 (日中)	15	その他	0

(4) 計画相談支援の支援内容

支援内容	件数	支援内容	件数
福祉サービスの利用	170	家計・経済	47
障害・病状の理解	13	生活技術	12

健康・医療	145	就労	0
不安解消・情緒安定	33	社会参加・余暇活動	0
保育・教育	0	権利擁護	3
家族関係・人間関係	7	その他	39

6. 柏崎刈羽地域障害者自立支援協議会への参加

- (1) 全体会 2回
- (2) サービス調整連絡会議 10回・・・村山
- (3) 地域づくり部会 4回・・・村山
- (4) 就労部会 3回・・・眞貝
- (5) 相談支援連絡会 5回
- (6) プール支援時の合理的配慮プロジェクト3回・・・村山

7. その他

- (1) 中越圏域相談支援事業連絡会（長岡市） 3回
- (2) 中越圏域自立支援連絡会 地域移行支援部会
- (3) 関病院との地域機関の連絡会
- (4) 厚生病院との地域機関連絡会 2回
- (5) ひきこもり支援連絡会 2回
- (6) 地方協議会
- (7) 柏崎市刈羽村障害者介護給付費等支給審査会委員 3回・・・横田
- (8) 柏崎市障害者福祉推進会議・・・村山
- (9) 特別支援学級保護者学習会（市立二田小学校）・・・横田

公益事業
 柏崎市資源物リサイクルセンター管理に関する業務 事業報告

1. 事業の目的

この事業は、柏崎市より委託を受け、在宅の障害者を対象に、その業務を行うもの（登録者、支援スタッフ）を派遣し、地域における障害者の雇用対策の一環として継続的に就労自立支援を行う。

2. 事業の実施主体及びバックアップ施設

- (1) 事業実施主体 社会福祉法人たいよう福祉会
 (2) バックアップ施設 たいよう SOCIO センター

3. 業務内容

- (1) 施設と施設周辺の簡易清掃、除雪
 (2) 施設に持ち込みをする市民の接客
 (3) 資源物の整理・管理
 (4) 火災等の防止、不法投棄や建物破損等の事件・事故の委託者への通報

4. 職員の体制（平成31年3月31日現在）

- (1) 支援員スタッフ 15名（事務兼務 1名含む）
 (2) 登録者スタッフ 2名

5. 開所日及び開所時間

- (1) 年末年始を除く、週3日（水、土、日曜日）9:00～18:00
 (2) 年間開所日数 154日

6. 事業内容

(1) 来場者数（単位：人）

※「1日平均」は小数点以下を切り捨て

年度	開所日数	来場者数	来場者数 前年度比	1日平均	備 考
24年度	154	112,564	10,708 増	726	小型家電13品目の回収を追加
25年度	154	122,899	10,335 増	798	小型家電の回収を88品目に変更 支援スタッフ1名の増員
26年度	154	142,338	19,439 増	924	古着回収を追加（平成26.7月～）
27年度	154	149,373	7,035 増	969	
28年度	149	158,576	9,203 増	1,029	
29年度	154	176,804	18,228 増	1,148	支援スタッフ1名の増員
30年度	154	166,448	10,356 減	1,080	西本町資源物リサイクルセンター開設 （平成30.9.5開設 シルバー人材受託）

(2) 担当課（市民生活部環境課）との連絡会議の開催

平成30年 5月15日、7月17日、9月18日、11月20日

平成31年 1月15日、3月19日